

アイドルカ GINZAN BOYZ 兵庫県朝来市

地下880mで誕生した 超スーパー地下アイドル

1200年の歴史を誇る生野銀山。近年、訪れる観光客は減少傾向にあったが、それに歯止めを掛けるために、これまでに見たこともないアイドルグループが誕生した。ネットで大いに話題を呼んでいる彼らの全貌とは？

室町時代に開坑したとされる兵庫県・生野銀山。明治時代には佐渡銀山とともに宮内省御料局の所管となった。1973年(昭和48)に閉山したが、同時に観光坑道として営業を開始。2011(平成23)には生野銀山文化ミュージアムが新装オープンし、天空の城「竹田城」と並ぶ朝来市(あさこし)の人気観光スポットとなっている。

そんな史跡の魅力をさらにアピールするために、今年7月、「超スーパー地下アイドル」が誕生した。その名も「GINZAN BOYZ(ギンザンボーイズ)」。構成メンバーは60人という大所帯だが、そもそも生身の人間ではない。

「メンバーは鉱山の作業員を模したマネキン人形。彼らの舞台は生野銀山の地下880mなので、地下アイドルならぬ超スーパー地下アイドルというわけです(笑)」と語るのは、生野銀山を管理する株式会社シルバースターの社員で、「GINZAN BOYZ」事務局の大坂雄吾さん。

同社は、銀山が閉山した年に三菱マテリアルと朝来市(旧生野町)の出資によって設立された企業。鉱山の歴史を伝える観光業とお土産の販売などを行っている。

メンバーには全員名前が付いており、それぞれに細かいキャラクター設定もあるという念の入れようだ。とこので、バンク・ロックバンド「銀杏BOYZ」との関係性も気になるどころだが、「弊社には若者の音楽事情に疎い者が多いので、恥ずかしながら私も含めてデビュー直前まで『銀杏BOYZ』さんの存在は知りませんでした(大坂さん)と意外な回答。ネーミングや楽曲作成などは広告代理店の主導で行っているそうだ。

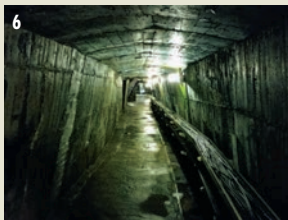
とはいえ、銀山×マネキンアイドルという趣向はネットなどで大いに話題になる。「聞こえますか? ノミ(撃)の音」で始まるデビュー曲「ギンギラ銀山パラダイス」は、YouTubeでの再生回数は公開1カ月で3万回を超えた。ちなみに、動画のなかでメンバーに交じて作業する男性は、朝来市の多次勝昭市長である。

いずれにせよ、大坂さんらは予想以上の反響に非常に驚いているという。「SNSなどで情報が拡散したせいか、お披露目イベントには遠方から来てくださった方もいました。鉱山のOBの中には肩をひそめる方もいますが、地元の人々も夏祭りや曲を流してくれたら、小学校の運動会で踊ってくれたり、おおむね好評のようです」

近畿北部の道路網が整備され、たことで、アクセスの悪い生野銀山よりも北部の城崎温泉や山陰ジオパークに直接足を延ばす人が増え、結果、銀山を訪れる人の数が減ってしまった。これを打開するために誕生したのが「GINZAN BOYZ」。今後は三菱マテリアルとのタイアップでテレビCMの企画なども持ち上がっているという。数え切れないほどの男たちが一攫千銀を目指して鉱脈を掘り続けた生野銀山。彼らの魂が世界一深い場所でも活躍するアイドルグループとして蘇ったことになる。今後、どんな新しい展開を見せてくれるだろうか。(石原たまき)



1「GINZAN BOYZ」のセンターを張るメンバー。キャッチコピーは「超スーパー地下アイドル、ついに発掘!」だ。2お披露目イベントには大勢の観客が訪れた。3自作のうちわでイベントを盛り上げた運営スタッフたち。4デビュー曲の「ギンギラ銀山パラダイス」。



5 金香瀬坑道の入り口。6 坑道の内部。未公開坑道を含めると総延長は350kmにもなる。